

村井弦齋生誕150年記念イベント おうちで弦齋!『食道楽』料理を食べよう

豊橋出身の作家、村井弦齋の生誕150年を記念し、図書館職員が『食道楽』に記載された料理2点を当時のレシピを基にして復元・実演しました。

日 時 ●平成26年5月31日(土)・6月1日(日)
10:30~12:00

会 場 ●豊橋市中央図書館 3階 集会室



ジンジャービスケット

明治という西洋料理になじみがなかった時代に、『食道楽』では多くの料理を紹介されました。その中で復元する料理は「お米のオムレツ」と「ジンジャービスケット」。

職員が食道楽のヒロインお登和さんと弟子の玉江さんに扮して実演しました。両日で52人の方々にお越しいただきました。



会場のようす



中央には調理台、奥は食道楽や弦齋を紹介するスライド、左手には手元を映すスクリーン

実演では、お登和さんが玉江さんに料理を教えるというかたちです。最初はお米のオムレツを作り、その後ジンジャービスケットを作りました。ところどころで、お登和さんから作るポイントの紹介がありました。

また、弦齋のことや代表作『食道楽』のこと、当時の調理器具について説明をしました。

ジンジャービスケットを焼き上げている間に、参加されたみなさんには、事前に用意したビスケットを試食していただきました。ひとたび口の中に入ると広がるジンジャーの風味は、みなさんに好評のようでした。



試食のようす

最後に、村井弦齋が作った「料理心得の歌」を紹介してイベントを締めくくりました。

お寄せいただいたアンケートでは、「ジンジャービスケットがおいしかった。家で作ってみたい」、「料理の実演がとてもよかった。村井弦齋の人物像も良く理解できました」などのご感想がありました。



イベント終了後も多くの方がオムレツを見に来たり、感想を教えてくださいました

かっぱう着の復元

弦齋は、西洋の看護婦や家政婦の服から着想し、調理用の服を発明しました。これが現在のかっぱう着の元であったといわれています。

今回、残っている写真をもとにかっぱう着を清田悦子・日置奈々両先生(豊橋市立家政高等専修学校)に復元していただきました。

